



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。

■取付け上のお願

- バーハンドルは必ず本体吊込み後取付けを行ってください。
- 片引き標準・幅狭タイプに両側タイプのバーハンドルを取付ける場合は、必ず付属の戸当りを扉に、戸当り受けを枠に取付けてください。取付けないと、バーハンドルおよび引戸枠、枠側戸当りパッキン破損の原因となります。
- 片側タイプの引手は必ず小壁側に取付けてください。取付けないと、バーハンドルおよび引戸枠の破損の原因となります。

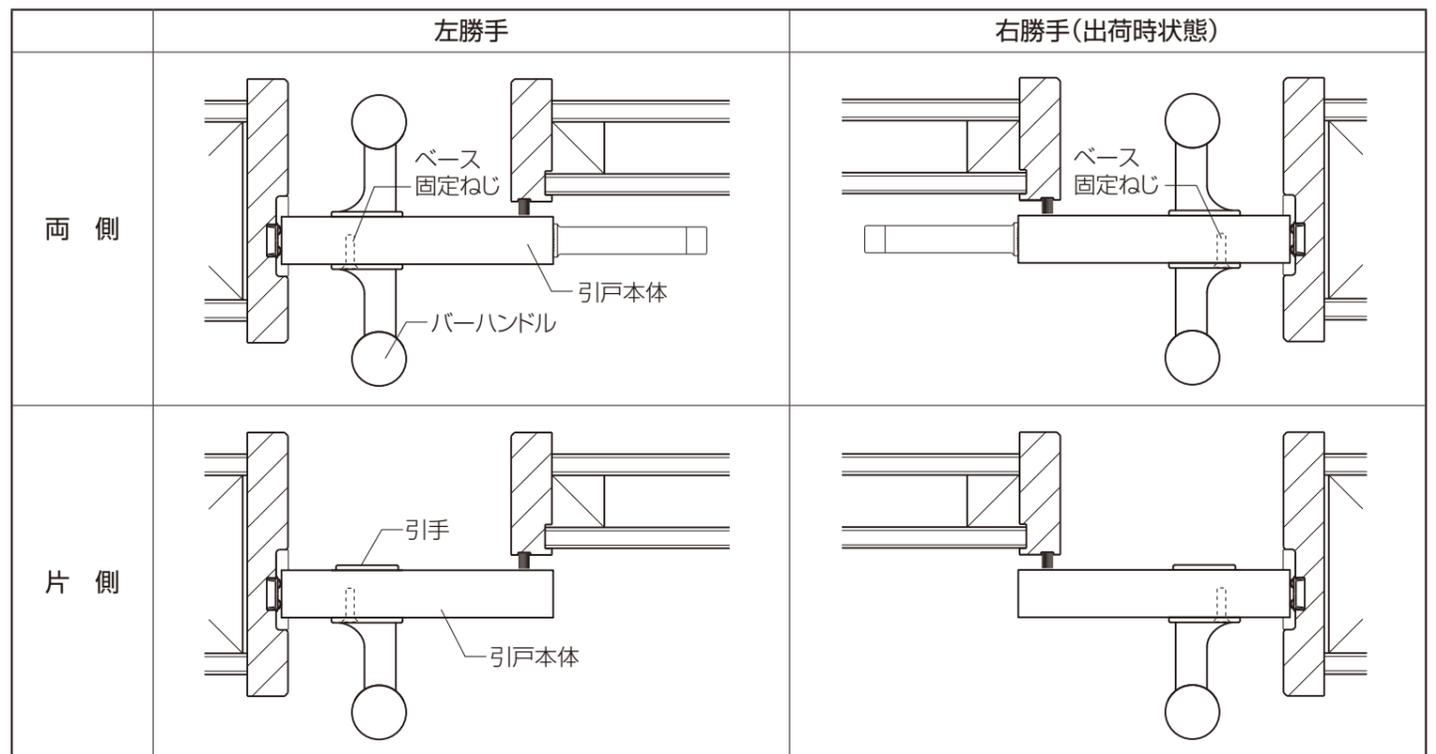
■部品・部材の明細

<p>■両側タイプ</p> <p>ベース固定ねじ(2本) (皿小ねじM5×16)</p>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当りストッパー</td> <td>戸当り受け</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り固定ねじ(1本) (トラスタッピンねじ φ4×40)</td> <td>戸当り受け固定ねじ (1本)(皿タッピン ねじφ4×25)</td> </tr> </table>			戸当りストッパー	戸当り受け			戸当り固定ねじ(1本) (トラスタッピンねじ φ4×40)	戸当り受け固定ねじ (1本)(皿タッピン ねじφ4×25)	<p>■片側タイプ</p> <p>引手</p> <p>ベース固定ねじ(2本) (皿小ねじM5×16)</p>
戸当りストッパー	戸当り受け									
戸当り固定ねじ(1本) (トラスタッピンねじ φ4×40)	戸当り受け固定ねじ (1本)(皿タッピン ねじφ4×25)									

■取付け前の準備

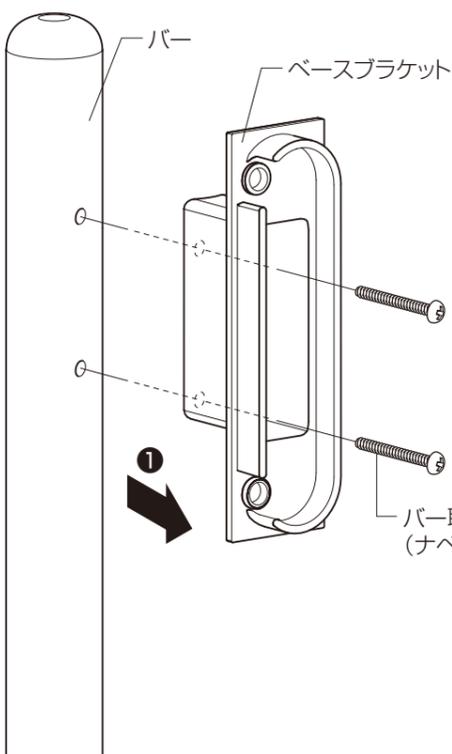
1 勝手の確認

●出荷時は右勝手の向きです。左勝手の場合は「2 バーハンドルの勝手の変更」を参照の上、勝手を変更後、引戸本体に取付けてください。右勝手の場合は、そのまま引戸本体に取付けてください。



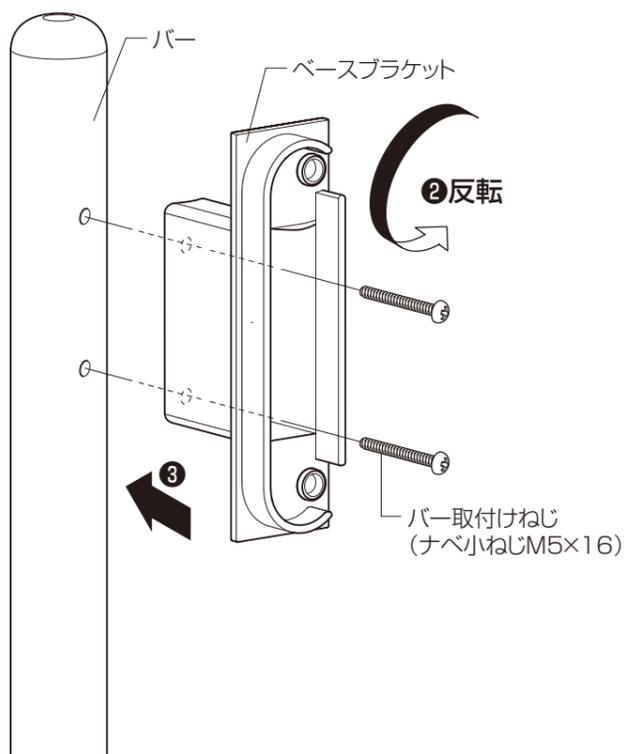
2 バーハンドルの勝手の変更

①ベースブラケットの裏面のバー取付けねじ(ナベ小ねじM5×16)をゆるめてバーから取外します。



②ベースブラケットを反転させて、裏面より①のねじでバーに固定します。

お願い
※バー取付けねじ締付け時には、必ず手回しドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したりバーが割れるおそれがあります。



■取付け順序

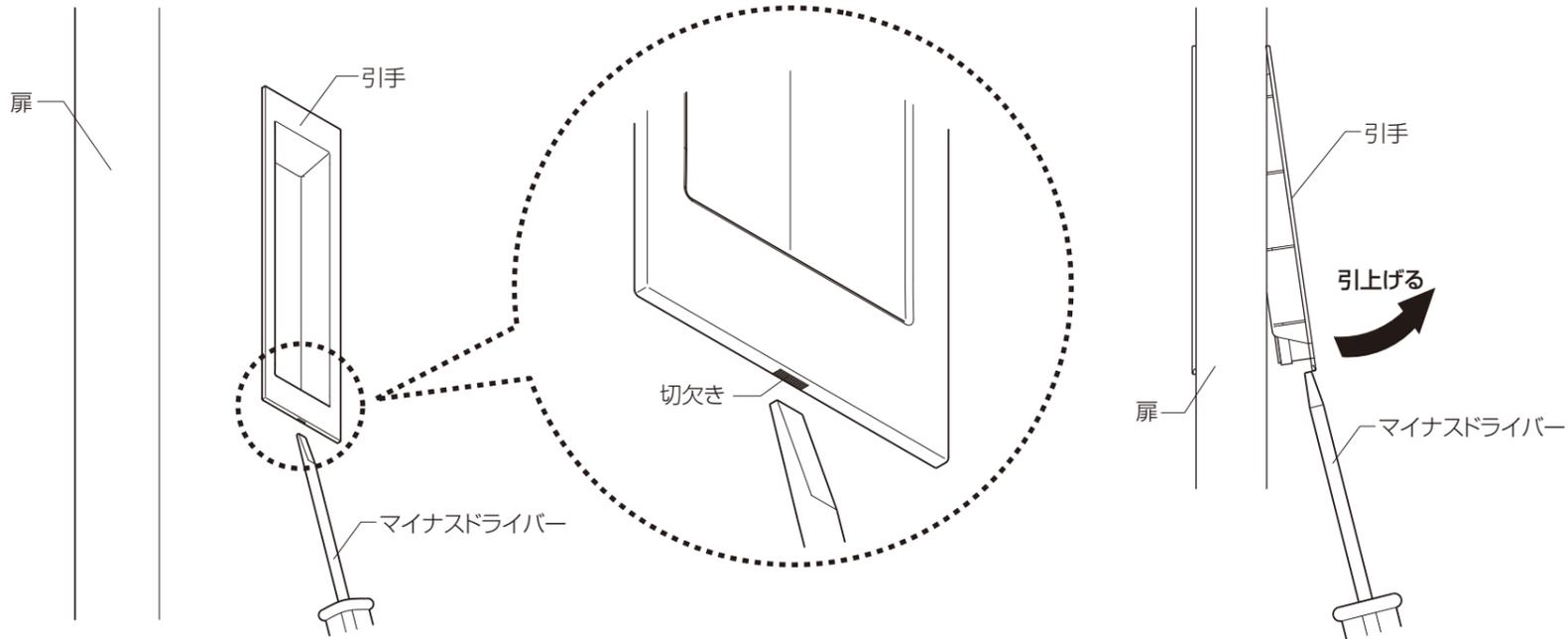
①引手が本体についている場合、引手を外してください。

(ネジ止め引手の場合)

●ネジをゆるめて引手を外します。

(ワンタッチ引手の場合)

●引手下部にある切欠きに扉を傷付けないようにマイナスドライバーを差込み、下図の方向に引手を引上げて外してください。



②右図のように引手加工にベースブラケットを合わせて引戸本体に固定します。片引き標準・幅狭タイプに両側タイプを取付けるときは、以下③～⑤の作業を実施します。

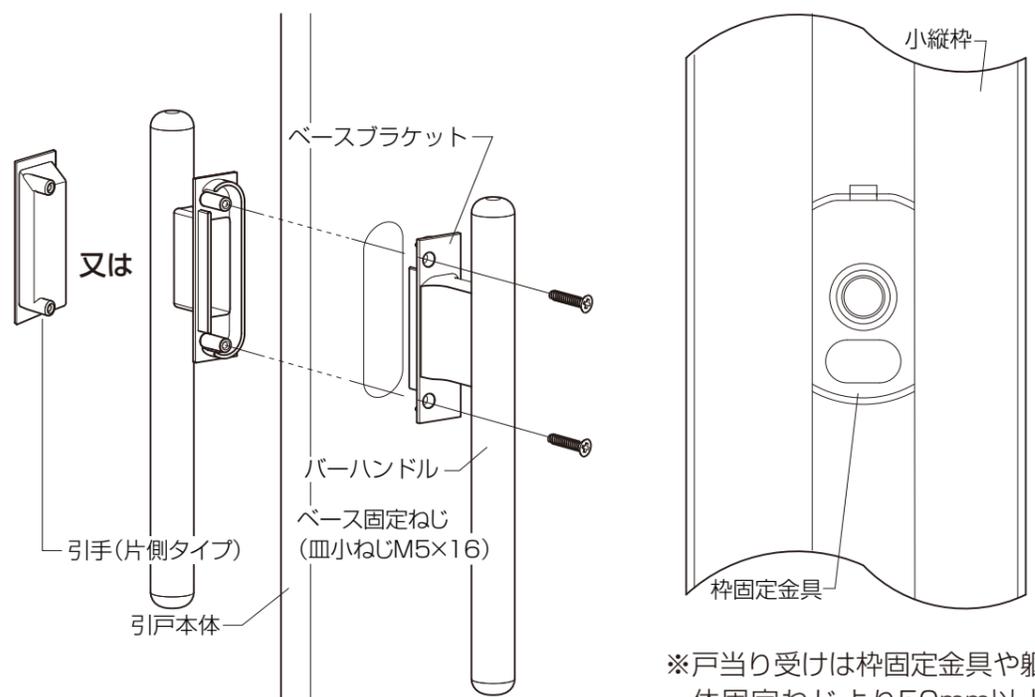
③小縦枠の戸当りパッキンを取外してください。

④小縦枠に戸当り受けを下穴(φ3)をあけてからねじ(皿タッピンねじφ4×25)で取付けしてください。

※取付け位置は、小縦枠の下端より500～1,000mmの位置で小縦枠に付属の枠固定金具や躯体固定ねじより50mm以上離れた位置に取付けてください。[A図]

⑤取外した枠の戸当りパッキンを、戸当り受け取付け位置にあわせて2本に分割して取付けしてください。

⑥小縦枠の戸当り受けの位置に合わせて 本体に戸当りストッパーを下穴(φ3)をあけてからねじ(トラスタッピンねじφ4×40)で取付けてください。

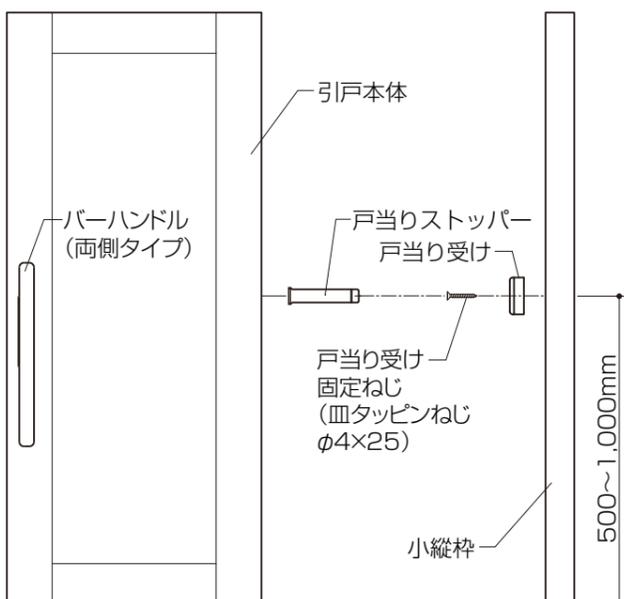


※戸当り受けは枠固定金具や躯体固定ねじより50mm以上離して取付けしてください。

[A図]

■戸当りストッパー、戸当り受け取付け位置

※戸当りストッパーと戸当り受けは一直線上にくるように取付けてください。



※片引き標準・幅狭タイプに両側タイプを取付けるときのみ

